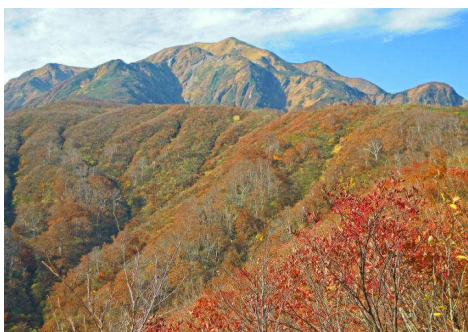


# 平成24年度に樹立・策定する中越計画区の概要(案)

## 1 現行計画の概要

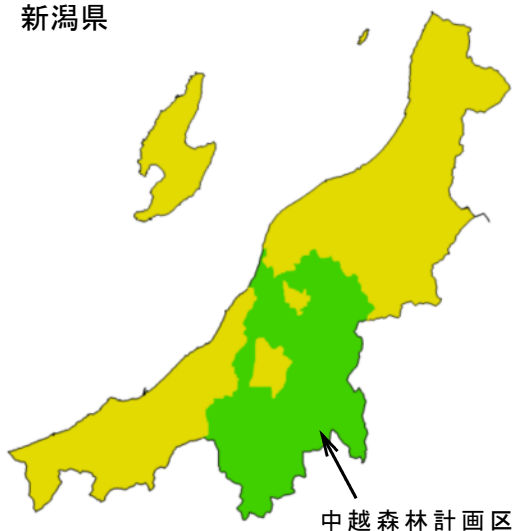


越後駒ヶ岳の紅葉



冬の苗場山

新潟県



### (1) 森林計画の概要

#### ア 位置

当計画区は新潟県の中央部に位置し、長岡市、三条市、柏崎市、加茂市、十日町市、魚沼市、南魚沼市、湯沢町、津南町に所在する国有林野104千haを対象。

#### イ 国有林の特徴

当計画区のうち85%は上信越高原国立公園をはじめ各種の自然公園に指定されている。

また、佐武流山周辺及び利根川源流部・燧ヶ岳周辺の森林を森林生態系保護地域に設定し、自然環境の保全に努めている。

さらに、水源かん養保安林が全体の65%に達し、生活用水や稲作地帯の農業用水として重要な役割を担っている。

#### ウ 森林資源の状況

- ・人工林が7千ha、天然林が83千ha。
- ・人工林（面積割合）は主にスギ71%、カラマツ11%。  
21～40年生が33%、41年生～60年生が56%となっており、資源の充実とともに間伐期を迎えた林分が多い。
- ・天然林は、ブナ、ミズナラ及びコナラを主体とした広葉樹二次林が山地帯を中心に広く分布している。

#### エ 機能類型別面積

水土保持林が38.3千ha、森林と人との共生林が64.5千ha、資源の循環利用林が1.3千ha。

(2) 現行計画の概要

ア 保護林及び緑の回廊

保護林	9箇所	20,962 ha
緑の回廊	2箇所	20,105 ha

イ レクリエーションの森

自然休養林	1箇所	2,140 ha
自然観察教育林	5箇所	656 ha
森林ｽﾍﾟｰｽ林	1箇所	10 ha
野外ｽﾍﾟｰｽ地域	11箇所	2,701 ha
風景林	1箇所	228 ha
風致探勝林	箇所	ha
その他	16箇所	31 ha

ウ 国民参加の森づくり

ふれあいの森	34 ha
--------	-------

エ 伐採・保育事業量

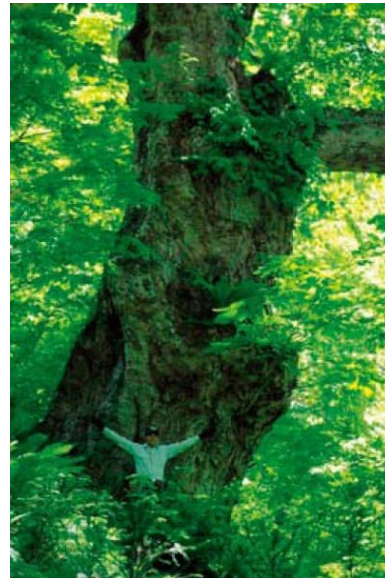
主伐	18,106 m3
間伐	24,666 m3
造林	25 ha
下刈	116 ha
つる切	55 ha
除伐	123 ha

オ 林道の事業量

林道開設	3路線	6,090 m
林道改良	52路線	56,960 m

カ 治山の事業量

溪間工・山腹工	76箇所
保安林整備	1,150 ha



推定樹齢500年の見倉の大栃



八十里越え付近を林野巡視(田代平)

## 2 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源のかん養機能の向上に資する森林整備をはじめ、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

- (1) 地球温暖化防止のための森林吸収源対策をはじめ公益的機能の発揮のため、間伐などの森林整備を推進。
- (2) 保護林などでモニタリング調査を実施し、今後の取扱いに反映。
- (3) 希少野生生物の保護対策を推進。
- (4) ボランティア団体などが行う森林づくりへの支援。
- (5) 治山事業により荒廃地や集中豪雨被害地の復旧整備や保安林の整備を計画的に推進。
- (6) 「森林・林業再生プラン」を踏まえ、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・効率的な作業等の普及による間伐材の利用の推進。
- (7) レクリエーションの森の適正な管理

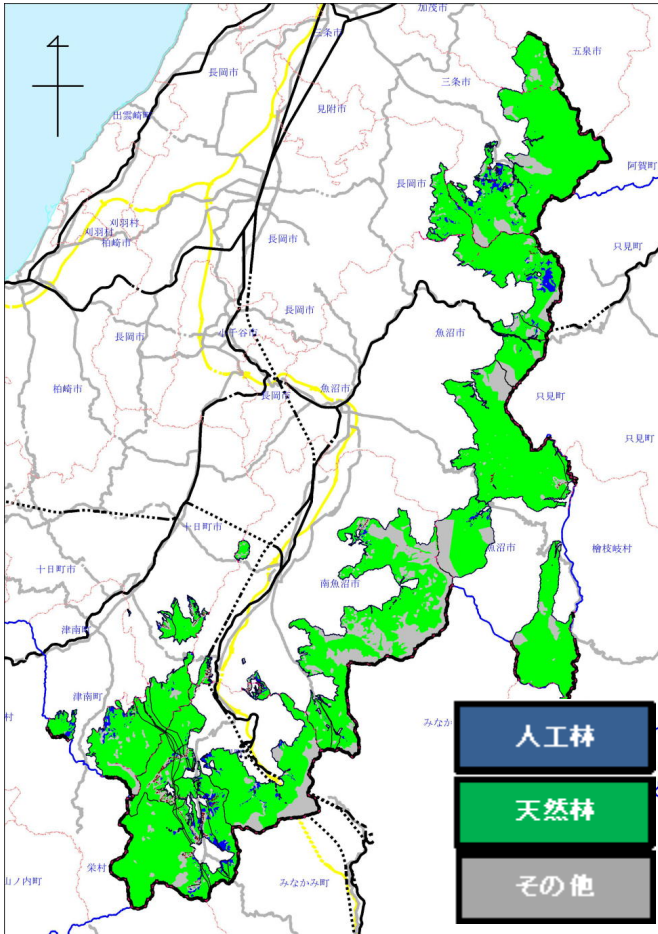
## 市町村別森林面積等

市町村名	市町村面積 A (ha)	森林面積 B (ha)	うち国有林 C (ha)	森林率 D=B/A (%)	国有林率 E=C/B (%)
長岡市	84,088	40,983	2,189	49	5.3
三条市	43,201	28,858	14,622	67	51
柏崎市	44,270	28,809		65	
加茂市	13,368	9,776	2,132	73	22
十日町市	58,992	39,851	7,650	68	19
魚沼市	94,693	83,420	30,920	88	37
南魚沼市	58,482	44,148	19,256	75	44
湯沢町	35,700	32,618	25,384	91	78
津南町	17,028	11,437	2,066	67	18
計	449,822	319,900	104,219	71	33

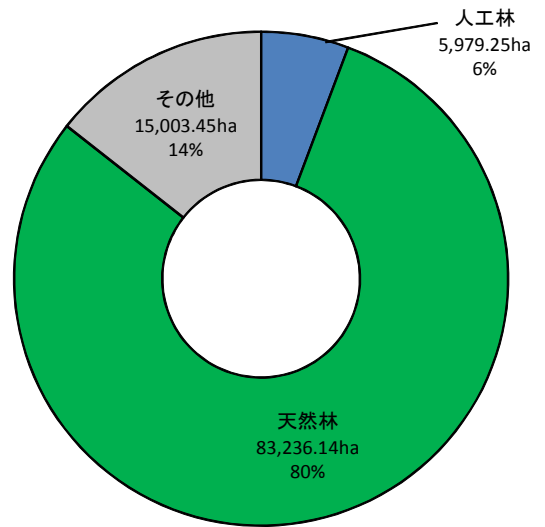
- 注) 1. 市町村面積は「平成18年市町村要覧」による。  
 2. 端数処理の関係で総数は一致しない場合がある。

# 人工林・天然林

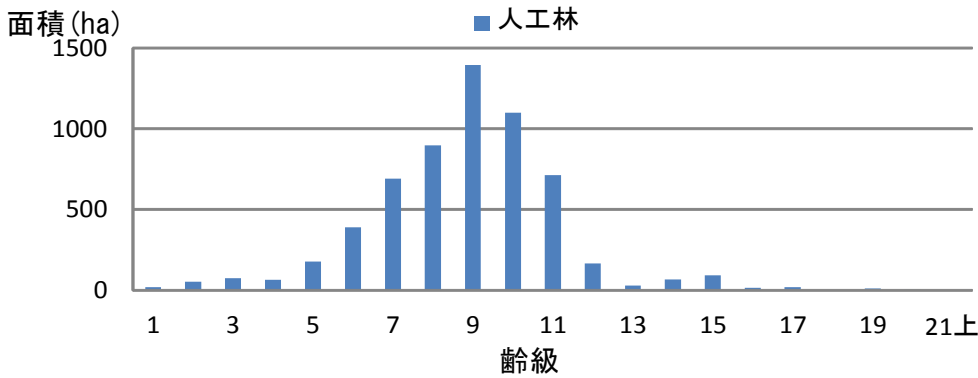
## 人工林・天然林の分布状況



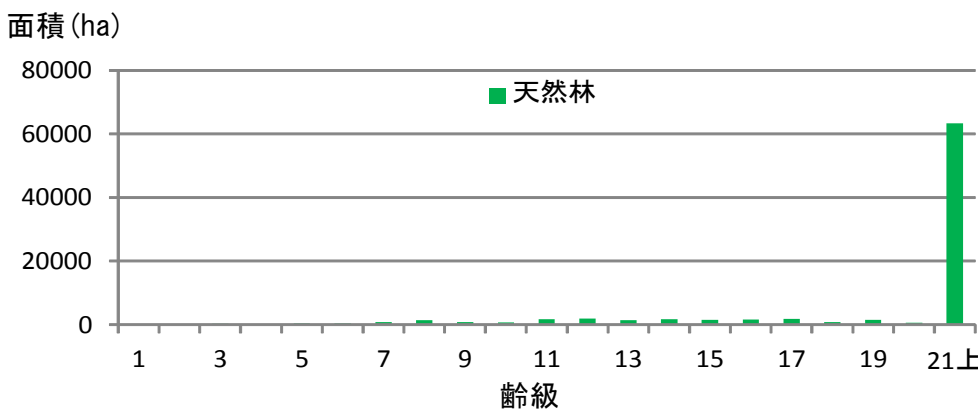
## 人工林・天然林別割合



## 齢級別面積



人工林の齢級別では6齢級（26年生）～11齢級（55年生）が多く、間伐の対象となる森林が多いことから、計画的な間伐を実施する必要があります。



天然林は、キノコ原木等としての利用のほか、原生的なブナ林等が広範に保存されているため、引き続き維持保存に努めます。

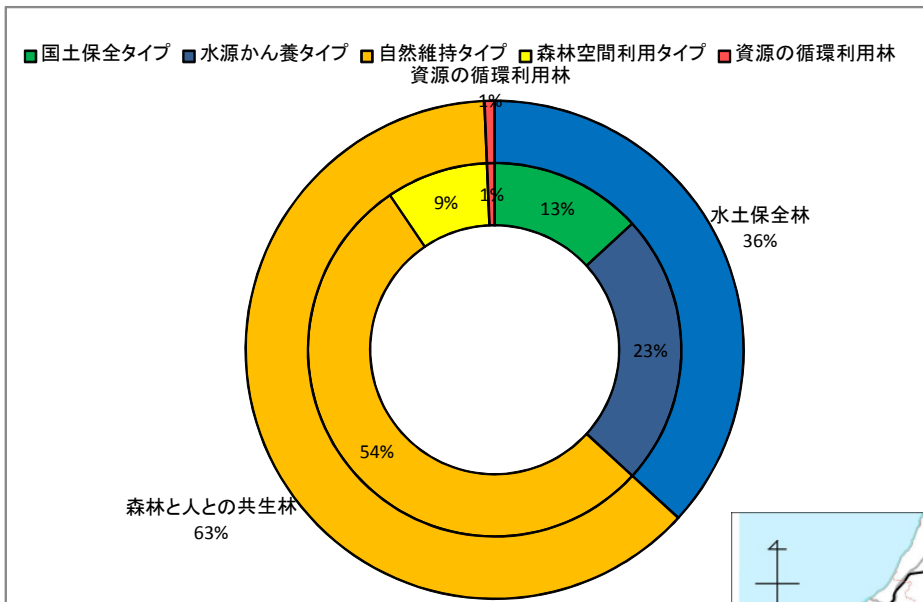
機能類型

機能類型区分について

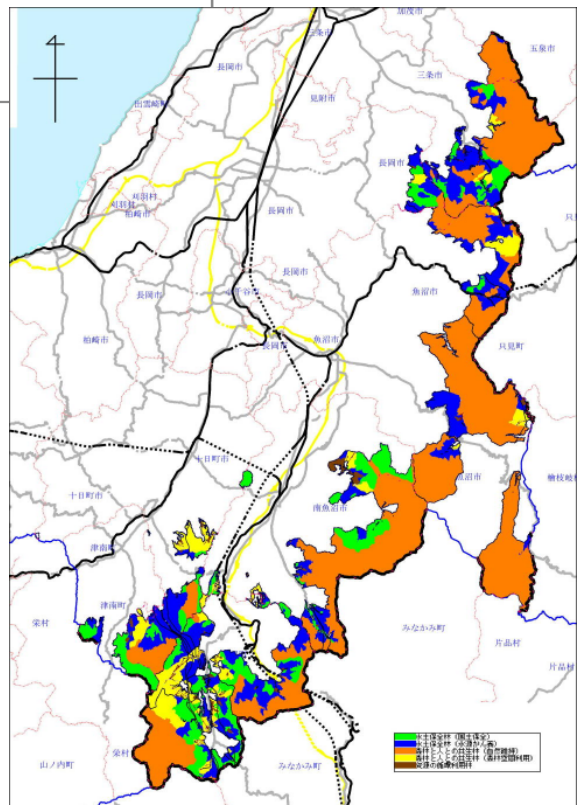
国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分しそれぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進。

水土保持林 (国土保全タイプ・水源かん養タイプ)	森林と人との共生林 (自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)	資源の循環利用林
<b>目標とする森林の姿</b>		
土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林	環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林
<b>森林の取扱い</b>		
樹根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進	森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需給に応じた林木を育成するために適切な更新、保育及び間伐を推進

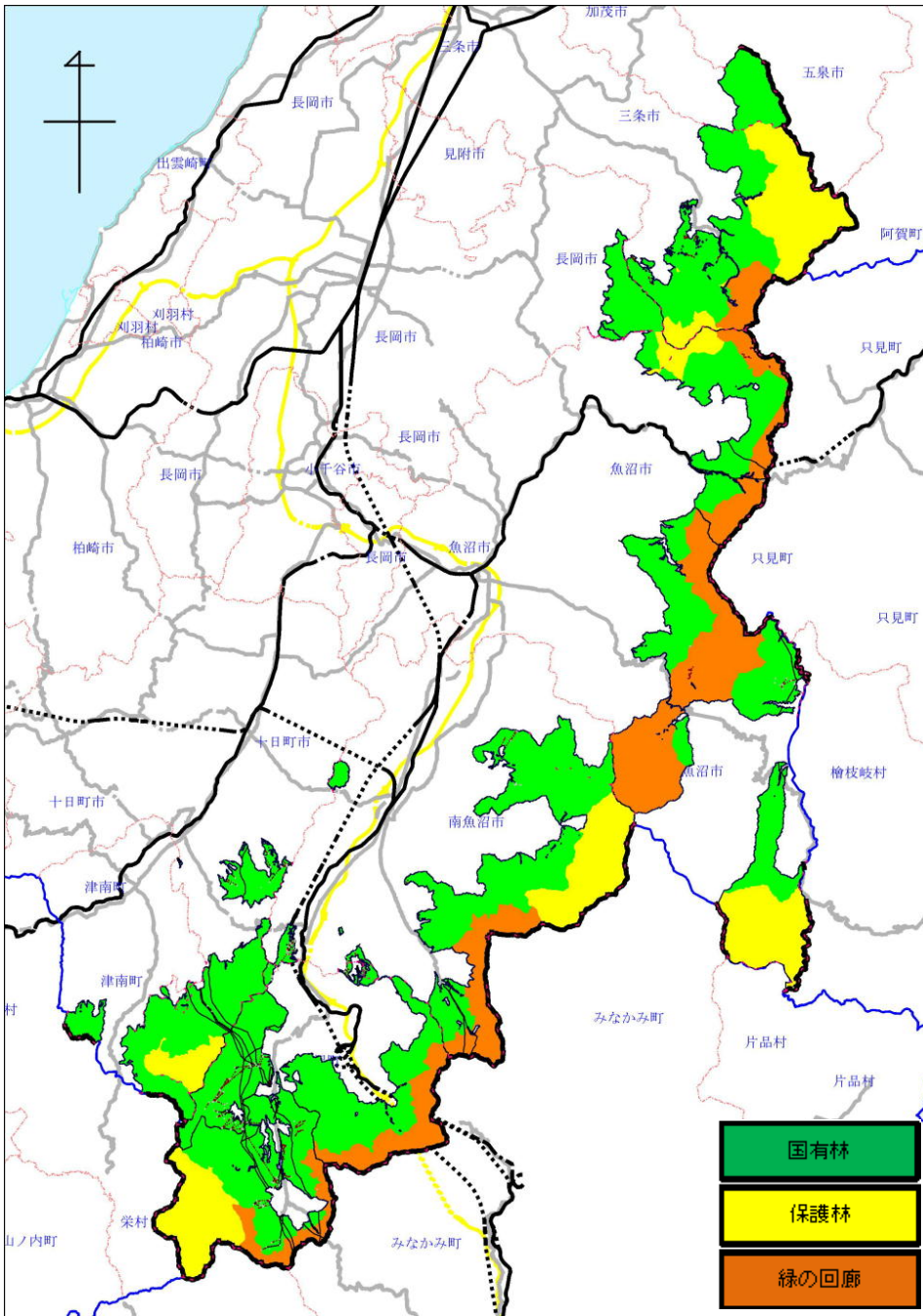
当計画区の機能類型は、水土保持林36%、(国土保全タイプ13%、水源かん養タイプ23%)、森林と人との共生林63%(自然維持タイプ54%、森林空間利用タイプ9%)、資源の循環利用林1%となっています。



- 水土保持林(国土保全タイプ)
- 水土保持林(水源かん養タイプ)
- 森林と人との共生林(自然維持タイプ)
- 森林と人との共生林(自然空間利用タイプ)
- 資源の循環利用林



保護林・緑の回廊



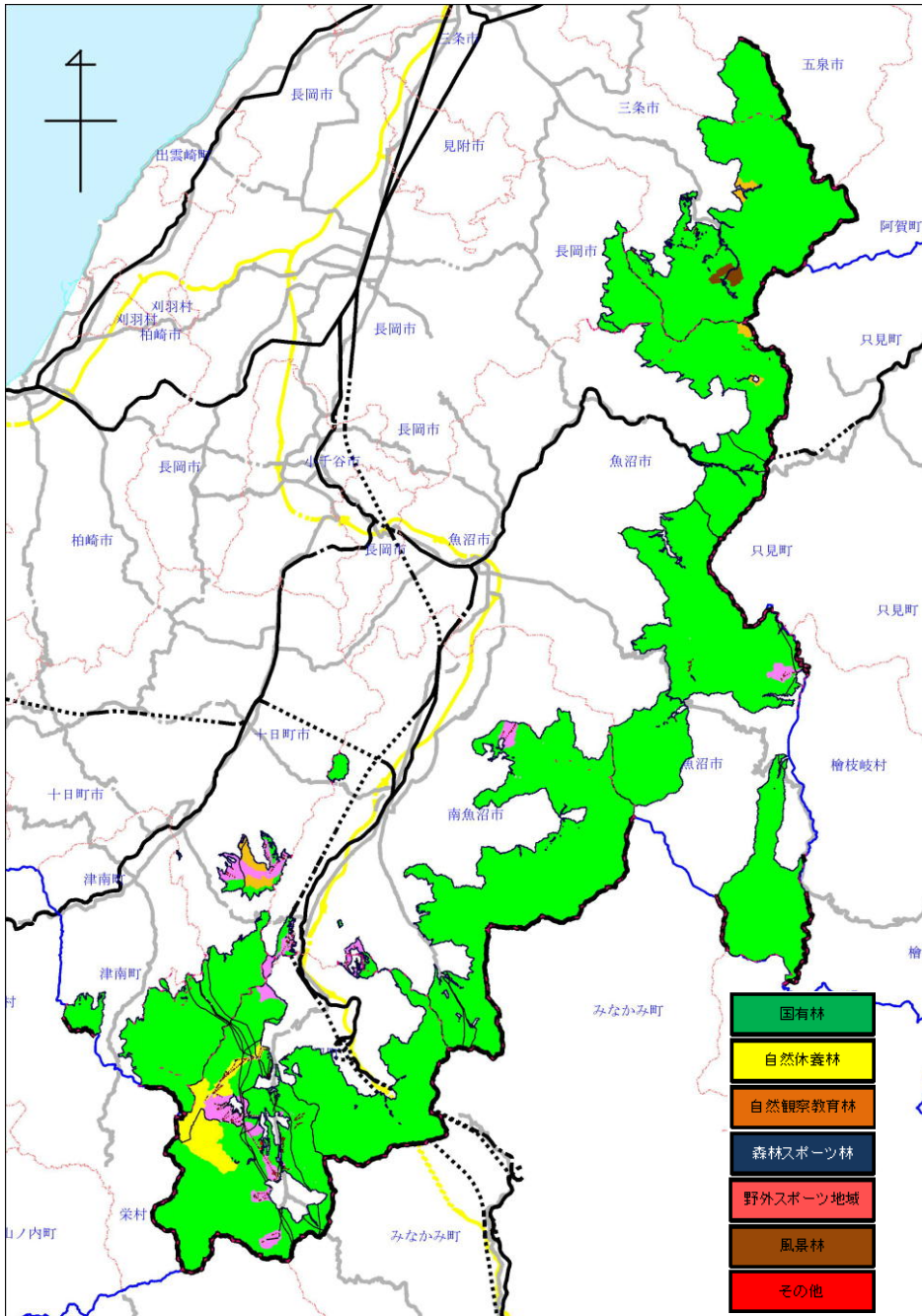
- 【森林生態系保護地域】  
 原生的な天然林を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の学術研究等に資する。
- 【林木遺伝資源保存林】  
 主として林木の遺伝資源を自然生態系内に保存する。
- 【植物群落保護林】  
 我が国を代表するものとして保護を必要とする植物群落等の維持、学術研究等に資する。
- 【特定動物生息地保護林】  
 特定動物の繁殖地、生息地等の保護を図り、併せて学術研究等に資する。
- 【緑の回廊】  
 保護林と保護林を結ぶことで、野生動植物が移動し生活の場を広げ、より多様で充実した森林生態系の保全を図る。

保護林・緑の回廊	名 称	面積 (ha)
森林生態系保護地域	利根川源流部・燧ヶ岳周辺	8,432
	佐武流山周辺	3,954
林木遺伝資源保存林	小松原ブナ	9
	榎橋ブナ	18
植物群落保護林	小松原湿原	1,490
	守門岳ブナ	1,079
	守門ブナ	699
特定動物生息地保護林	雨生池アマゴイルリトンボ	13
	笠堀カモシカ	5,269
緑の回廊	緑の回廊三国線	7,446
	緑の回廊越後線	12,659



小松原湿原植物群落保護林

レクリエーションの森概要



- 【自然休養林】  
自然休養の場として利用しつつ、風致的な森林整備を図る森林の区域
- 【自然観察教育林】  
当該地方の特徴的な自然や特異な自然景観等を有し自然科学教育等に適した地域
- 【森林スポーツ林】  
森林を主体とする野外スポーツの場として適した地域
- 【野外スポーツ地域】  
スポーツ施設及び滞在型施設等の設置に適した地域及びその周辺の森林
- 【風景林】  
レクリエーション利用上の近景林、遠景林としての風致の維持に配慮する必要がある地域
- 【その他(単独レク施設)】  
単独でレクリエーションの施設の用に供される地域

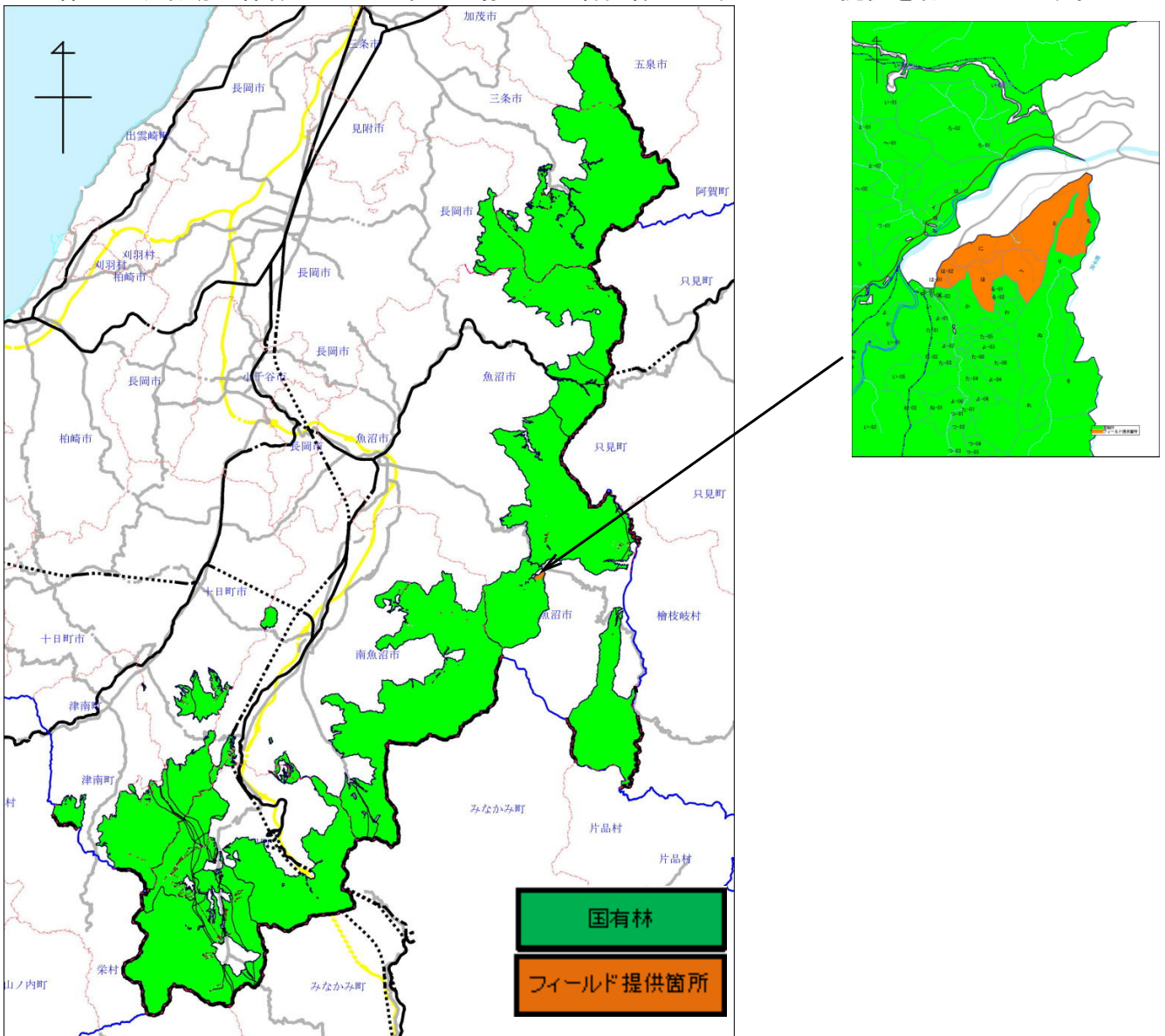
レクリエーションの森	面積 (ha)
自然休養林	2,140
自然観察教育林	656
森林スポーツ林	10
野外スポーツ地域	2,701
風景林	228
その他(単独レク施設)	31



苗場自然休養林

## 国民参加の森づくり

森づくり活動や森林とのふれあいの場として各団体にフィールドの提供を行っています。



### フィールドの提供

種類	名称	面積 (ha)
ふれあいの森	银山平ふれあいの森	34

#### 【ふれあいの森】

森林をフィールドとした国民の自主的な森林整備活動の場として設定する。